

EU Indicators

欧州経済指標コメント：5月ドイツ製造業受注

発表日：2018年7月5日(木)

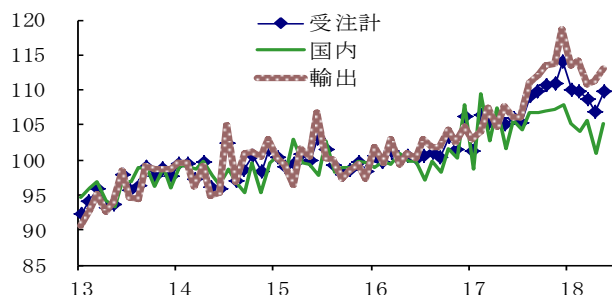
～さすがに反発も、貿易戦争の影響はこれから～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 5月のドイツの製造業受注は前月比+2.6%と5ヶ月振りに増加した。前月の数字も当初発表から上方修正され(同▲2.5%→同▲1.6%)、今年1月からの累積落ち幅(▲6.2%)の4割近くを取り戻した計算となる。内訳は国内受注が同+4.3%と前月の落ち込み(同▲4.4%)から反発し、輸出受注も同+1.6%と2ヶ月連続で増加した。輸出受注の地域別内訳は、ユーロ圏向けが同+6.7%と3ヶ月振りに増加した一方、非ユーロ圏向けが前月に急伸(同+5.9%)した反動もあり同▲1.3%に減少した。
- 財種別の内訳(国内と輸出の合計)は、中間財(同▲0.6%)が減少した一方で、資本財(同+4.7%)、耐久消費財(同+11.3%)、非耐久消費財(同+2.6%)が揃って増加した。大口受注とみられるその他輸送機械を除く資本財も同+4.0%と5ヶ月振りに増加した。急伸した耐久消費財は、特に国内向け(同+19.2%)が牽引したが、輸出向け(同+4.7%)も6ヶ月振りに増加に転じた。
- 5月の反発は広範な項目に及び、大口受注に助けられたものではない。年明け以降の受注減少に歯止めが掛かった点はポジティブ。だが、ドイツの製造業PMIの新規受注判断や輸出受注判断、さらにIfo企業景況感の製造業の生産見通しや輸出見通しのモメンタム鈍化が続いており、単月の反発で受注の冷え込みに歯止めが掛かったと判断するのは難しい。今回の計数は5月値。ここに来て主要国・地域を巻き込んだ貿易戦争への脅威が高まっており、もう一段の下押しに警戒したい。

■ドイツ：製造業新規受注(季調値)

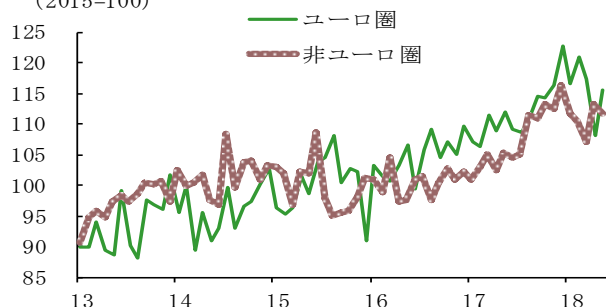
(2015=100)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツ：製造業輸出受注(季調値)

(2015=100)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの製造業受注(季節調整値、実質、前期<月>比、%)

	2017			2018	2017					2018				
	2Q	3Q	4Q	1Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
製造業受注計	1.2	2.3	3.5	-2.2	0.8	0.3	2.7	-3.5	-0.2	-1.1	-1.6	2.6		
資本財	1.4	1.9	4.7	-1.8	1.0	-1.3	5.0	-4.3	0.6	-1.9	-4.4	4.7		
資本財(除くその他輸送機械)	1.8	2.7	2.8	-2.7	-1.5	3.3	0.1	-3.1	-0.1	-2.0	-1.9	4.0		
中間財	0.9	3.4	2.0	-3.0	0.5	2.4	0.2	-3.2	-0.7	-0.7	3.1	-0.6		
消費財	2.0	0.9	1.0	-0.3	0.6	2.4	-3.2	2.9	-3.8	2.7	-1.7	4.9		
耐久消費財	1.4	4.0	2.1	-5.3	0.9	5.5	-3.9	-4.4	1.2	-2.7	1.2	11.3		
非耐久消費財	2.1	-0.3	0.6	1.7	0.6	1.2	-3.0	5.7	-5.5	4.7	-2.9	2.6		
国内受注計	1.3	1.0	1.3	-2.2	0.2	0.4	0.5	-2.3	-1.2	1.5	-4.4	4.3		
輸出受注計	1.3	3.4	5.1	-2.1	1.2	0.2	4.3	-4.3	0.5	-2.9	0.4	1.6		

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。